

会 議 録

	<p>開 会</p> <p>市長より委員へ委嘱状の交付</p> <p>市長あいさつ</p> <p>委員自己紹介</p> <p>事務局自己紹介</p> <p>鈴木茂委員長、守谷一郎副委員長選出、あいさつ</p> <p>【審 議】</p>
鈴木委員長	これから審議に移ります。審議事項1の市民自治推進委員会の調査審議について、事務局より内容についてご紹介下さい。
事務局	資料2により、市民自治推進委員会設置の根拠、目的、役割等を説明。第2期の調査審議事項についての確認。
鈴木委員長	ご苦勞様でした。ただいまの説明に関しましてご質問やご意見などございませんでしょうか。 それでは、第1議題についてはご了解頂いたという事で、第2議題の地域コミュニティ活性化事業について事務局よりご説明下さい。
事務局	資料4により地域コミュニティ活性化事業について、現在の進捗状況とこれからの予定について説明。
鈴木委員長	ご苦勞様でした。地域コミュニティ活性化事業についてご説明いただきましたが、地域コミュニティ検討委員会で当初から関わっておられた委員もおられますが、何かご意見とか補足するような事はありませんでしょうか。
高岡委員	検討委員会では、公民館を拠点とはしますが、今までの公民館活動とは別な地域活動を新しい組織としてやっていこうということを提言させていただいた訳ですが、これまでにない取り組みですから、やってみないと分からない部分が多くあります。モデル事業に取り組んで頂くなかで、いろんな問題が出た時にどのように解決していくのかという事も含めて地域にお任せしようということになりましたので、この委員会での検証を通じて今後の地域での動きを見ていきたいと思ひます。
大西委員	モデル地区の3地区をうらやましく思ひます。私は川之江公民館の運営審議委員をしておりますので、川之江地区でもぜひやりたいと考えていた訳ですが、大所帯でありまして難しいのではという意見が出まして手を上げることができませんでした。これから計画を立てていくということで、大変だとは思ひますが是非がんばって頂きたいと思ひます。 参考にお聞かせ願ひたいんですが、3モデル地区の人口と協議会の人数が分かりましたら教えて下さい。
事務局	地区コミュニティ協議会ですが、蕪崎地区で20団体、川滝地区で17団体、豊岡地区が27団体で構成されています。団体から推薦された人と、個人的にまちづくりに積極的に関わっていて会長が認めた方で協議会を構成することが規約で定められています。人口ですが、蕪崎は989人、川滝1740人、豊岡4043人です。

守谷副委員長	住民集会にはコミュニティ協議会の会員だけじゃなくて、誰でも参加することができるんですか。
事務局	公民館にチラシと申込用紙を置いていまして、どなたでも途中からでも参加できるようにしています。
鈴木委員長	参加希望者が52名で実際には40名の参加とのことですが、40名に絞ったのですか。
事務局	全員に案内しましたが、当日出席者が40名という事で絞った訳ではありません。
山本淑子委員	協議会を構成する各種団体というのは、自治会とか愛護班とかの団体ですか。
事務局	豊岡地区に関しましては、豊岡町ふるさとづくり実行委員会という組織がありまして、それをベースにコミュニティ協議会を設立しました。構成する27団体は、婦人会や自治会、愛護班や学校、幼稚園、保育園、スポ少や消防団など地区内で活動する全ての団体が含まれています。川滝と蕪崎につきましては、公民館の運審、運営委員会に入っている団体や、その他の地区内の様々な団体に個別に呼びかけをしまして、賛同いただき、ほぼ同じ様な構成で協議会を立ち上げました。
鈴木委員長	豊岡地区には、ふるさとづくり実行委員会が既にあったという記録を残しておくことで、コミュニティ活性化事業を総括する際の参考になると思います。 豊岡地区の住民集会が始まっていますが、参加された方はいらっしゃいますか。
事務局	地区住民には周知をしていたのですが、地域コミュニティ検討委員会や市民自治推進委員会の皆様へのご案内ができていませんでした。今回の資料には3地区の今後の日程を掲載しております。またコミュニティ検討委員会の皆様にもお知らせをしたいと思います。住民集会は傍聴席を多く設けていまして、県や他の自治体職員、報道関係者など大勢の傍聴者がいますので、ぜひ傍聴していただきたいと思います。
守谷副委員長	市内の公民館関係者にも周知した方がいいと思います。
山川委員	検証をするためには、経過を見ておかないとできないと思うんです。全部行くのは無理としても、振り分けるとか、全く見てない状態で意見は出せないと思いますので、できる限り行ってみようと思います。
真鍋委員	2年間のモデル事業を、今回の委員会の任期中に全て検証するのは難しいんじゃないかと思います。また、いろんな角度から検証するという意味では、各地区の担当職員の意見を聞くというのも良いと思います。
鈴木委員長	住民集会で何をするかというと、地区のみなさんがいろんな課題とか活動されている事をとにかく全部出していただいて、その中から共通するもののでできるだけ集約して、その中から実行できる事を、住民でできるもの、行政ができるものといった種分けをしていく作業によって地区計画を作成していくんだと思うんです。住民集会がうまくいっている所は、スローガンや目標などに住民の合意形成がうまくできていると思うんですが、それが一つの評価基準になると思います。それからもう一つは、多くのみなさんから意見が出て合意形成されたものか、一部の人の意見でつくられたものかによって、実際に事業化した時に差が現れると思います。計画内容がよくまとまっているかということと、5年なり10年の実施期間に地区がまとまっているかということで客観的な評価になると思うんですね。
山本照男委員	冒頭でこの委員会の審議事項についての説明もあったんですが、私たちはどのよう

鈴木委員長	<p>なことを議論するのか少し分かりにくいんです。資料に基づいてコミュニティ活性化事業の説明はありましたが、正直見えてこないんです。先ほども意見が出ていたが実際に見たり聞いたりしないと本当の所が分からないと思うんです。事業は始まった所なので、これから自分たちがどう関わっていくのかを議論するのが先決かなと思うんです。</p> <p>出来上がった計画書などを見てもどう評価して良いか分からないということもありますので、行ける方は住民集会でどんな議論がされているのかを傍聴されると様子がよく分かると思いますね。</p>
山本照男委員	<p>それと、先ほども出ていましたが、市の地区担当職員も出席されているそうなので、その人達の話の聞くというのも良いと思います。また、今後事業が始まった際にも、実際に見たり参加してみないと分からないと思いますね。</p>
事務局	<p>今回の資料は非常に簡単で大雑把な内容で申し訳なかったんですが、住民集会を指導していただいている藤原先生は、途中から参加した住民の方も議論に参加できるような手法と前回の議論をまとめた資料作りをして下さっていますので、実際に傍聴していただければ一番良いんですが、議論の経過が分かるような資料はご提示できると思います。</p>
鈴木委員長	<p>今日の審議事項の2については、コミュニティ活性化モデル事業は現在こういう方向で進めているということを確認したということで、これ以降は日程の調整ができる方は傍聴に行ってくださいということでお願いします。</p>
山川委員	<p>即結論が出る事ではないと思うんですが、スパンスパンでそれ相応の結果を出していったら、その都度次はどうするんだということで、その地区のあるべき姿を作っていくんだと思うんですね。それから市は、3モデルやったら次はどうしようとしているのかという話がなかったと思うんですが。</p>
鈴木委員長	<p>資料4にありますように市内には20の公民館区域があり、その中の3地区でモデル事業をする事になったんですね。それを他の地区の方にも見ていただきながら、最終的には市内20地区全てで取り組んでいただくということでしょうね。</p>
事務局	<p>市の施策として取り組んでいますので、一部の地区だけの取り組みというのではいけないと思っています。多くの地区で住民自治の意識が根付き、自分たちのまちは自分たちの手で作っていくという事に、最終的には市内全域で取り組まれることを目指しています。</p> <p>それから、今回はモデル事業が始まったばかりということで、検証のためにお示しできる資料がほとんどありませんでしたが、次回はできるだけわかりやすい資料を提示できるようにいたします。</p>
鈴木委員長	<p>南予のある町で以前、町長がドイツの農村部の美しい町を見て感動して、町の予算1千万位をかけて花の苗を買って花いっぱい運動に取り組んだんですが、住民の方も協力はしていたんですが、町長が交代すると続かなくなったんですね。一方成功したのは内子町なんですが、最初に取り組んだ石畳地区は観光客も一切来ない旧内子町でも一番条件の悪い地区だったそうです。ここで村の若者が、村の原風景は水車だということで、自分たちで一人5万円ずつ出して小さい水車小屋を作ったのがきっかけで、町も予算を組んで古民家を移築して石畳のまちとしたところ、これがヒットして多くの外国人や観光客が訪れるようになったんです。他にもJRの駅前の地区では、まちをきれいにしようという事で花壇を整備して花を植えているんですが、その苗代を町が助成するとか、各地区の活動が活発になってくると、住民が自主的にできる規模の事業には助成をし、予算規模の大きなものが提案されて、良いものであれば町の計画に</p>

	<p>取り込んでいくことになるんです。これは、住民の意見を聞いていかないとどんな意見が出るかは分からないですが、住民ががんばってれば地区が良くなっていく、それを他の地区の人が見て自分たちもがんばるといった良い循環がでてくるというのが、このコミュニティ活性化事業の目的だろうと思います。</p>
山川委員	<p>先般、10人ほどの仲間といっしょに内子の農家の方がやっておられるログハウスの農家民宿に泊まったんですが、驚きましたのは農家の高齢のご夫婦も非常にそのことを意識した内子のいろんな思いをお話されていて、すごいんだなと感じました。</p>
鈴木委員長	<p>20年の積み重ねでそうなっているんですね。最初は難しくても時間をかけてじっくりやっていくとそうなるんですね。</p>
山本淑子委員	<p>おそらく一番懸念されるのは、行政主導でいってしまうことなんですね。委員長が言われたように住民主導で草の根から行くのが理想なんですが、きっかけはどうしても行政主導ということになると思うんですね。そうすると、今までであったような尻切れのようにならないかという不安を払拭しなければいけないと思うんですが、そのためにはいろんな仕掛けが必要だと思います。</p>
事務局	<p>行政主導のご意見がありました。この事業は市で作った計画に基づいて実施される事業ですので、当然初めは市からメニューを提示させていただいて取り組んでいただくこととなります。先般より住民集会が始まりましたが、集会を指導していただいている藤原先生は、冒頭で協働について住民の皆さんにお話がありました。どこの地区にも強みを持った人や団体がいらっしゃる、また、弱いところ、課題もそれぞれありますが、強みを持ち寄ることで解決できる課題が多くある。可能性はたくさんあるんだと。実際に地区住民が協働して一つのことを成し遂げると、次から次へアイデアが湧いてきて、活気のある地域活動が継続されていくという事例が全国いろんな所で見られるようになってきたというお話をされました。住民集会の参加者のみなさんは実際に地域で活躍されている方ばかりですから、みなさん強みを持っています。強みを持ち寄れば新しいパワーが生まれ、今まで限界を感じていた事や、一人ではできなかったことができるようになるという希望を感じることができましたので、おそらく参加された住民の方も、今後の地域活動を自分たちの手で作り上げていくことができるんだというような気持ちになられたと思います。</p>
鈴木委員長	<p>高齢化が悪いように言われることがあるんですが、今高齢者がいっぱいいるんですね。いろんな経験のある方が地域にたくさんいて、そういった方が時間を持て余しているような面もありますので、地域でそういった運動が起こった時にはみなさん参加されるようになるんですね。先ほどの内子町の別の地区では、町役場の元幹部の方が中心となって取り組まれているんですが、海外からも日本の農村の原風景だと注目されるようなまちづくりをしているんですね。今どこの地区にもそういった人材はいらっしゃいますので、活動に加わっていただくとずいぶん変わってくると思うんですね。</p>
守谷副委員長	<p>ケーブルテレビで取り上げてもらえたら良いですね。</p>
事務局	<p>報道関係機関には取材のご案内をしておりましたが、新聞社のみの取材でした。なお、ケーブルテレビには依頼をするようにします。</p>
山本淑子委員	<p>この事業で番組を作ってもらったらいいと思います。</p>
守谷副委員長	<p>いいですね。番組を見て地区の方や、他の地区の方にもこういう事をやっているんだという事が良く分かると思いますね。</p>

事務局	提案してみます。
鈴木委員長	それでは、これからの住民集会には都合のつく方につきましては、事務局にご一報いただき傍聴していただけたらと思います。それから今後の予定ということでは、それぞれ計画が出来た段階で一度検証させていただき、その後もモデル事業全般について見守っていくということによろしいでしょうか。それでは、その他で何かございませんか。
高岡委員	次回の開催はいつ頃の時期になるのでしょうか。
事務局	委員長からもお話がありましたが、3モデル地区の計画が出来上がるのが年度末になるかと思っておりますので、お忙しい時期ではありますが3月になると思っております。
大西委員	各公民館にモデル地区事業スケジュールを配布していただけていませんか。コミュニティ検討委員会のメンバーも、計画策定後、実際にどう動いているのか気になっておりますし、興味のある一般市民の方もいると思っておりますので、そういう方には公民館を通して是非周知して、傍聴にもいっていただけたらと思います。
山本淑子委員	公民館長さんには資料をお渡ししていますが、一般市民向けには用意していませんでしたので、これからご用意したいと思っております。
鈴木委員長	広報紙などで紹介することは可能ですか。
事務局	事業がスタートしたばかりですので、今すぐにとすると難しいですが、ある程度事業が進展した段階で特集を組んでもらうことにしています。スケジュールに関しては掲載してもらえよう申し込みするようにします。
鈴木委員長	審議事項の4その他で他にご意見は無いでしょうか。
山川委員	審議事項2として、提言に基づく事業や施策について調査審議するとなっておりますが、これはどのようにしていくんですか。
事務局	昨年当委員会より提出された提言に基づき、市が実施した施策等をその都度ご報告いたしまして、確認をしていただきたいと考えています。今回も少し触れましたが、コミュニティ活性化事業における地区担当職員等の指名につきましては、市職員の地域で活躍できる体制づくりをなささいという提言を受けて、要綱による制度化をしたものであります。今後も提言に基づいた施策等については随時お知らせをし、ご意見を賜りたいと思っております。
鈴木委員長	他にご意見はございませんでしょうか。 本日の審議事項その他を含めて4点議論していただきました。この後は事務局にお返しいたします。
事務局	それでは、これをもちまして本日の予定が全て終了いたしましたので、市民自治推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。